

ほのぼの通信

社会福祉法人まりも会 清瀬療護園 広報紙

第61号

〒204-0023
清瀬市竹丘3-1-72
清瀬療護園
TEL:042-493-3235
FAX:042-493-3234
発行：地域福祉委員会（広報部門）

新年のごあいさつ

清瀬療護園 施設長 中野公広

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで、当施設は昭和51年に開所し、本年度43年目を迎え、また、平成29年4月に旧施設から新施設に移行し、2回目の新年を迎えることができました。昨年は一歩一歩ではあります、重度化・高齢化・医療化などの多様化するニーズへの対応や地域交流・地域貢献の基盤づくりをご利用者や地域の皆様ならびに地域の事業所とともに、地域防災対策の検討会や当施設の設備開放・行事（祭りやボランティアとの集い）などを通じて育むことができました。ことを心より感謝申し上げます。

また、清瀬市中里に地域の皆様のご理解・ご協力を賜り、平成30年1月に主に身体障害者を対象としたグループホーム及び短期入所施設を開

所することができました。グループホームでは、地域移行の拠点施設として小規模施設とならないように地域生活を念頭にいただいた支援を心がけております。

改善に向け取り組むべきことは多々ありますが、引き続き本年もまりも会の理念である「私たちは、自らの社会的責務を自覚し、ヒューマンズムと専門性を大切にされた社会福祉実践を行ないます」「私たちは、個人の尊厳を守り、生活の主体者たる利用者の意向を十分に尊重します」「私たちは、地域社会における一構成員であることを認識し、地域福祉の推進に努めます」に基づき、職員一同更なる高い目標を目指し、精進・努力を継続していき、より良い施設運営に努めてまいります。

皆様方のますますのご多幸と活躍をお祈り申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

第2回シニアクラブ & 清瀬療護園との地域交流イベント

「秋の小祭り」レポート

11月3日（土・祝）午前11時～午後3時開催

「秋の小祭り」とは、昨年の「夏の小祭り」に続き、今年で2回目となるシニアクラブと、清瀬療護園の利用者の方々と地域交流イベントです。

今年シニアクラブ3団体、竹水会、白梅会、竹寿会の皆様方との地域交流となりました。参加者も利用者の方々10名を含め、総勢100名くらいの参加となり、さらに今年も地域の駄菓子屋「島田商店」の出店もあり、非常に盛り上がりました。

開催当日は快晴で、とても気持ちのよい天候のなかで成坑節や東京音頭をみんなで踊ったり、南京玉すだれをシニアクラブの皆様披露していただきました。さらに景品付きのカラオケ大会では大勢の参加者の中で、清瀬療護園の利用者も5名参加し、皆さんに歌を披露しま



した。歌っている間、シニアクラブの皆さんによる手拍子が起こり、歌い終わった際には大きな拍手に包まれました。景品では野菜や果物などをいただき、利用者の方々も非常に楽しく参加できました。その後、景品付きの輪投げ大会を開催し、カラオケ大会に参加しなかった利用者なども参加し、非常に盛り上がるなか、イベントは終了しました。とても素晴らしい地域交流イベントになりました。

今後も継続的にこのようなシニアクラブの皆様と利用者との地域交流イベントを毎年行ってまいります。ちなみに第3回シニアクラブ & 清瀬療護園との地域交流につきましては、来年5月の開催を目指しております。今回のイベントでご尽力いただきました竹水会・見世会長様及び中島様、信愛コーディネーター・森様、島田商店様、本当にありがとうございました。



第2回「ボランティアの集い」レポート

11月30日(金)午前11時45分〜午後3時30分開催

昨年に続き、今年で2回目の開催となる「ボランティアの集い」には、日ごろ活動されているボランティアの方々やお世話になっている団体の方々、清瀬療護園の利用者5名を含め総勢40名の方々が参加されました。

今回の「ボランティアの集い」では、清瀬療護園の美味しいカレーを皆さんに召し上がってもらおうことと、「津久井やまゆり園の事件について考える」をテーマとして取り上げ、みんなで考察することを目的に開催しました。

「津久井やまゆり園の事件について考える」では、答えは見つかりませんでした。が、さまざまな問題を参加者で共有できたことは非常に素晴らしい機会になったと感じています。

皆様の感想として、「ボランティアの方々を大切にしていることが嬉しひと伝わってきました」「やまゆり園の事件を深く取り上げることが、同じような施設として痛みを伴うものであったと思います。とても考えさせられました。ありがとうございました」「いろんな事を考える良い機会になったと思います。個人的に「答えのない話し合い」は、とても重要だと思っていて、無駄な

ことだと思いません。必要なことだと思っております。有意義な時間でした。ありがとうございました」など、本当にうれしい言葉ばかりでした。ありがとうございました。

今後、「ボランティア講座」や「ボランティアの集い」を通じて、ボランティアの方々と共に様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。ボランティアの皆様、今後ともよろしくお願い致します。



清瀬療護園祭り

「手と手をつなぎ、みんなでつくるう、地域の輪」をコンセプトに、新施設になって2回目のお祭りで、盛大に行われました。

9月17日(月)

焼きそばやカレーライス、かき氷やわたあめなどの模擬店、わなげやスパーボールすくい、ヨーヨーつりなどのゲーム、高校生による吹奏楽演奏、抽選会などがありました。また地域の方の出店もありました。

屋外テントや模擬店の物品を借りてきたり、会場準備に思った以上の時間を要しましたが、たくさん地域の人たちに来ていただき、とても嬉しく思います。ご来園していただいた方々、どうもありがとうございました。



イベント活動報告

10月28日(日)



ピザ作り

地域交流イベントです。隣の小学生も参加され、利用者の方と一緒にピザ作りをしました。参加者それぞれが、ピザ生地にオリジナル・トッピングをして、おいしいピザを作りました。



9月22日(土)

フラダンスショー



フラ・スタジオNapua (ナプア) のダンサーさんが魅力的なフラダンスを披露してくださいました。

昭和記念公園へ

10月10日(水)・31日(水)

よく晴れた公園を散策し、コスモス畑やイチヨウ並木を見まわりました。レストランで食事を楽しみました。



10月26日(金)

ハロウィン・パーティー

利用者や職員が仮装をして、施設内をパレードしました。活動室ではマイケルジャクソンの映画「スリラー」が上映されました。



10月17日(水)

青葉バーバース・ダンスショー



東村山市青葉町を拠点とするダンスチームのショーを楽しみました。ショーの途中で3回も衣装が変わり、とてもエキサイティングなショーでした。

11月7日(水)

鉄道博物館(大宮)へ



新秋津駅まで公用車で送ってもらい、電車で行きました。蒸気機関車(実物)や新幹線の車両、昔のオレンジ色の中央線の車両等を見て回りました。シオラマも良かったです。お昼は展望レストランで好きな料理をおのの注文して食べました。



12月19日(水)

ホルンと鈴による演奏、ハンドベル演奏、学生さんのダンス、マジック(手品) ショー、くじ引き大会などを皆で楽しみました。

クリスマス会



地域交流イベントです。地域の子ども達も来園し、キャンドルに色々な飾り付けをしました。

12月15日(土)

クリスマス・キャンドル作り



11月10日(土)

きよせふれあいまつり

清瀬療護園は展示部門で参加、模造紙に活動報告などを書いてPRしました。スタンプリリーのチエックポイントとして、来場者と交流もしました。



職員紹介

どうぞよろしく
お願いします

竹内悠子(生活支援課)

(たけうち ゆうこ)

5月に入職致しました。以前は訪問介護、特別養護老人ホームにて働いていました。

入職時は障害者支援での経験がなく戸惑う事もありましたが、現在は利用者様・職員の皆様のご指導により楽しく働かせて頂いています。

まだまだ未熟ではありませんが、常に利用者様の気持ちに寄り添った支援を心掛けていきたいと思えます。皆様引き続きご指導宜しくお願い致します。

千葉翔太(生活支援課)

(ちば しょうた)

3月から生活支援員として働かせて頂いております。私は学生の頃、CGの方を専門的に学んでいました。清瀬療護園に来た経緯は兄と友人の紹介です。

ここで働くにあたって、介護福祉士などの資格を取りたいと思っています。今後、少しずつ、研修等に参加して勉強しようと思っています。

これからも丁寧な支援を心掛けていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。

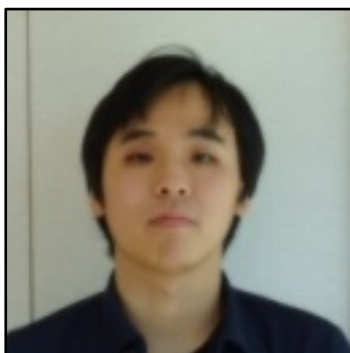
長瀬嶺(生活支援課)

(ながせ りょう)

4月に入職しました。

前職は、通所の重度知的障害者施設と軽度の作業所の2つ(同じ法人内)で7年ほど働いていました。重度の知的の方たちと、季節に合わせた行事や日々の日課を行っていました。作業所では、箱折やパン作りなど様々な経験をし、沢山の支援があることを再認識しました。

そしてこれからは、この施設で皆さんと多くの事を学んでいきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



編集後記

イベント活動報告は載せられるだけ載せましたが、その他にも、定期的なカラオケの会や音楽療法、映画

外出、外食企画なども行いました。新施設に引越して、4月で2年を迎えます。今後どうぞよろしくお願ひいたします。

(生活支援員 須永)